

「元気応援くらぶ」は住民主体で介護予防に取り組む地域活動です

聞いてみました！どうして「サロン」ではなく「元気応援くらぶ」なの？

高齢者や介護の業界では、既にサロンやカフェなど既存の仕組みがありました。介護保険制度の改正に合わせて、地域活動を活性化するための新たな仕組みを検討しました。すでに活動している団体を除外するものではなく、その団体も新たに活動範囲を広げる仕組み、活動を体操などに固定化せず、人と人がつながればコミュニケーションが生まれ介護予防に資することから、活動範囲を広げる仕組みを構想しました。

新たな仕組みとして、次のようなコンセプトを作りました。

- ①元気にするのはすべての人、既存のものを含めすべての活動：だから「元気」
- ②行政が直接支援するのではなく、間接支援（応援）に徹する：だから「応援」
- ③人と人がつながる仕組みとして団体化：だから「くらぶ」

実際に、公募を行うと補助金の申請・報告などの手間から手上げをしない団体も多くあります。段階的に、申請・報告書の簡素化、審査手順の見直しなど工夫をしておりますが、さらに、地域で活動しやすいものに工夫していく必要があると考えております。

（制度立案者）

松戸市ホームページより

(https://www.city.matsudo.chiba.jp/matsudodeikiiki/mokuteki/gaishutsu_tsudoi/bosyusitemasu.html)